

## 第1回 鳥取駅周辺再整備に係る四者連携協議会 議事概要

- 1 日 時 令和6年7月8日（月）15時～16時
- 2 場 所 鳥取市役所本庁舎市民交流棟 2階 多目的室 2, 3
- 3 議事内容

### 【副市長あいさつ】

本市では、20年以上にわたって中心市街地の活性化に取り組んできたところだが、人口減少や少子高齢化といった変化の波が、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、より大きなうねりとなり、施策の成果が見えなくなるなど、動きが止まってしまっていた。

そうした中で、コロナの収束が見えてきたこともあり、これを機に、まちを元気にし、鳥取市の衰退を防ぐことを目的として、鳥取駅周辺再整備の事業を進めることとした。

本年6月には、「鳥取駅周辺再生基本計画」が完成し、今後、2ヵ年をかけて整備計画を策定していくことになる。実施に向けて動き出すのは、もう少し先であり長期的な取り組みとなるが、市民や鳥取に来られた皆様に、まちが動き出したと実感していただくことを、何よりも希望している。

地方都市にとって駅周辺は心臓であり、そこが元気でないと全てがうまくいかないと考えており、駅周辺の再生を最重要課題として進めていきたいと考えている。

本日は、鳥取駅周辺再生基本計画の説明と、今後の取組としてサウンディング型市場調査などについて説明申し上げる。委員の皆様には、忌憚のない御意見、ご提言を賜りたい。

### 【委員紹介】

省略

### 【規約の承認】

委員の総意により規約を承認

### 【議題（1）鳥取駅周辺再生基本計画について】

資料により事務局から説明

### 【議題（2）鳥取駅周辺の再生に向けた今後の主な取組について】

資料により事務局から説明

### 【議題（2）について意見交換】

#### 1.交通実態調査について

- ・ 交通実態調査については、天候的な心配がある。天候により交通手段やルートがかなり変わるため、留意が必要。
- ・ 夏休みに入ってしまうと通学生が減少するなど、大きな影響があるため、標準的なデータを取るために夏休みを避けなくてはならない。

## 2.若者を対象としたワークショップについて

- ・ワークショップの対象者数・実施回数を検討していただき、様々な意見を吸い上げてよりよいものにしていただきたい。

### 【議題（3）意見交換】

- ・市民の方、当事者の方からの意見は、一生懸命考えられて出されてくる意見だと思うので、真摯に向き合うということが必要。
- ・多言語対応など、観光客が国外からも来ることを想定したまちづくり、あるいは鳥取駅の利活用を考えないといけない。
- ・駅前再開発においては、土地を含めて再整備していくことになる。PFI やコンセッションといった、民間の力をしっかりと活用できる新しい施設の整備方法がある。いろんな整備方法や駅前の土地の扱いについて、どういった方法がよいのか県と市で連携しながら、計画の検討を進めてまいりたい。
- ・JR では MaaS の取組を推進している。  
移動型アプリ WESTR の中では、例えば、新幹線から鳥取砂丘まで移動する際の全ての交通機関を検索できるようになっている。そのような機能を活用して、お客様にわかりやすい交通結節を作りたい。
- ・また、観光型アプリ tabiwa では、観光案内やチケット入手といったこともできるようにしている。そういったサービスを拡大していきたい。
- ・長期の整備期間となるので、その間の駅周辺の賑わい創出についても、可能な限り継続して、お客様が駅を忘れることがないようにしたい。
- ・鳥取駅が高架化して 40 数年、再整備が完成するまでで約 50 年経過するということになる。鳥取駅のまちの機能が大きく変わったのが 50 年前、また大きく街の機能を変えるということなので、いわゆる交通結節機能というものについては大変革をしたいと思っている。将来に向けたまち作りを一歩進められるように、しっかり取り組んでまいりたい。
- ・この事業そのものが、交流人口拡大のハブ的な機能だとか、地域コミュニティのハブとなるものにしていきたい。
- ・経済界・産業界も期待をかけている。一緒になって取り組んでいきたい。
- ・この四者連携協議会、みんなで一体となってこのまちを良くしていくために協力関係を持ちながら取り組んでいきたい。
- ・市民の方から聞いた意見にできる限りフィードバックし、みんなが創り上げる駅周辺として進めていかなければならない。
- ・このように協議会を開き、情報共有しながら鳥取を良くしていくことで活性化をしていく、上質な満足感がどんどん市民の中で出てきて、観光客の方にも、なんていいところだろうと感じていただけるような取組みが必要。時間がかかるが、市民の方に変化していくまちを感じていただくことで、満足感につながっていけばありがたい。
- ・鳥取市、県庁所在地の商業地最高価格において全国で最低になっている。人も経済もまちが動いてないから、そのようになってしまうのだろうと思う。

- ・ 駅前周辺に元気を入れて経済を回していかななくては、本当に衰退していってしまうと危機感を持っている。駅周辺再整備事業にて、市民の方・県外の方に、鳥取市はおもしろそうなことしているぞと見ていただけるような取組みを進めていきたいと思っている。
- ・ 交通実態調査について、駅利用者はもとより、他の様々な交通に関して、駅周辺の道路網が現状のままでいいのかどうかといったことも念頭に置いて検討いただきたい。
- ・ 交通量であるとか、基本計画の方にも記載がありますが、例えばこれから大きな災害が起きたときに、災害対応車両などが円滑に通行できて、この鳥取駅周辺が被災時に円滑に復旧できるのかという視点。駅周辺がなかなか普及できないというのは、この鳥取市で災害が起きたときに、いち早く立ち直ろうとするときの大きな障害にもなります。そういった観点からも、この駅周辺の道路網であるとか、交通量から考えたときの今の状況がどうなのかという評価分析、そういったものも合わせて検討していただきたいというふうに思うので、よろしくをお願いします。
- ・ 頂戴したご意見について、いろんな面で研究をさせていただきたい。

## 【閉 会】

- ・ 今後、駅周辺再生に向けた取組みに関する四者間での調整は、今回のような形で進めたい。引き続き、ご理解とご協力をお願いしたい。
- ・ 次回の開催については、サウンディング調査や交通実態調査などの結果がある程度取りまとまった段階でと考えており、おおむね10月から11月ごろを予定している。
- ・ 本日の会議をこれで閉会する。ありがとうございました。